

科目名	学科/学年	年度/時期	授業形態
コンピュータ概論	ネットワークセキュリティ 学科/1年	2026/前期	講義
単位数または時間数	必修・選択必修・自由選択		担当教員
4単位 (60時間)	必須		榎本, 松原
授業の概要			
・ 国家資格(基本情報技術者・応用情報技術者)取得に必要な、情報技術の基本的な知識を習得する			
授業終了時の到達目標			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 情報活用試験1級 合格(7月)</li> <li>・ I P A 修了試験 合格(12月)</li> <li>・ 基本情報技術者 合格(2月)</li> </ul>			
実務経験有無	実務経験内容		
有	20年間、ソフトウェア開発業務に従事。 ウォーターフォールの最上流から最下流まで一貫して担当。 晩年は主にプロジェクトマネジメント業務に従事。		
時間外に必要な学修			
次回の授業内容を踏まえてテキストを用いて予習する			
回	テーマ	内 容	
1	第1部 ハードウェア	第1章 コンピュータの構成	
2	第1部 ハードウェア	第2章 コンピュータのデータ表現	
3	第1部 ハードウェア	第3章 中央処理装置と主記憶装置	
4	第1部 ハードウェア	第4章 補助記憶装置	
5	第1部 ハードウェア	第5章 入出力装置	
6	第1部 ハードウェア	基数変換	
7	第2部情報処理システム	第1章 情報処理システムの処理形態	
8	第2部情報処理システム	第2章 高信頼システムの構成	
9	第2部情報処理システム	第3章 情報処理システムの評価	
10	第2部情報処理システム	第4章 ヒューマンインタフェース	
11	第2部情報処理システム	第5章 マルチメディア	
12	第1回 一斉試験	一斉試験	
13	第3部ソフトウェア	第1章 ソフトウェアの分類	

回	テ ー マ	内 容		
14	第3部 ソフトウェア	第2章 OS		
15	第3部 ソフトウェア	第3章 プログラム言語と言語プロセッサ		
16	第3部 ソフトウェア	第4章 ファイル		
17	第4部 データベース	第1章 データベースの概要		
18	第4部 データベース	第2章 SQL		
19	第4部 データベース	第3章 いろいろなデータベース		
20	第2回 一斉試験	一斉試験		
21	第5部 ネットワーク	第1章 インターネット		
22	第5部 ネットワーク	第2章 ネットワークアーキテクチャ		
23	第5部 ネットワーク	第3章 LAN		
24	第5部 ネットワーク	第4章 ネットワークの仕組み		
25	第5部 ネットワーク	第5章 ネットワーク管理		
26	第6部 セキュリティ	第1章 情報セキュリティの概要		
27	第6部 セキュリティ	第2章 情報セキュリティ対策		
28	第7部 アルゴリズム	第1章 データ構造		
29	第7部 アルゴリズム	第2章 基本アルゴリズム		
30	期末試験	前期末試験		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
ITワールド・サブノート		総合評価	100.0%	成績詳細は Classroom(コン ピュータ概論)より

科目名	学科/学年	年度/時期	授業形態
システム開発概論	ネットワークセキュリティ 学科/1年	2026/後期	講義
単位数または時間数	必修・選択必修・自由選択		担当教員
2単位 (30時間)	必須		榎本 靖之

## 授業の概要

本情報技術者試験の午前・午後問題に頻出するマネジメント系およびストラテジ系分野の知識を体系的に学習します。  
IT業界の構造や企業経営におけるITの役割、情報システムの企画・導入・運用、プロジェクトマネジメント、サービスマネジメント、セキュリティマネジメント、ITガバナンスなど、社会人基礎力としても重要な領域を扱います。  
試験対策としての暗記だけでなく、「なぜそれが必要か」「現場でどう活かされるか」という実務的な視点も養い、国家試験合格と就業後の即戦力化を同時に目指します。

## 授業終了時の到達目標

基本情報技術者試験のストラテジ系・マネジメント系分野の基本知識を正しく理解し、問題演習に対応できる  
経営戦略、業務プロセス、情報システム戦略、ITサービスマネジメントなどの概念を説明できる  
PMBOKに基づくプロジェクトマネジメントの基礎（QCD、WBS、リスク管理等）を理解し、事例と結びつけて考察できる  
セキュリティマネジメントやガバナンスの観点から、企業におけるITの適正な運用や統制について意識をもてる  
午前試験の対策問題および午後試験の記述式問題に対応する応用力を養う

実務経験有無	実務経験内容

## 時間外に必要な学修

回	テーマ	内容
1～2	第1部 企業と法務	第1章 企業活動 第2章 企業会計 第3章 経営科学 第4章 法務と標準化
3～4	第2部 経営戦略	第1章 経営戦略マネジメント 第2章 技術戦略マネジメント 第3章 ビジネスインダストリ
5～6	第3部 情報システム戦略	第1章 情報システム戦略の概要 第2章 情報システム企画
7～8	第4部 開発技術	第1章 システム開発技術 第2章 ソフトウェア開発技術 第3章 システム開発環境 第4章 Webアプリケーション開発
9～10	第5部 プロジェクトマネジメント	第1章 プロジェクトマネジメントの概要 第2章 プロジェクトマネジメントのプロセス
11～12	第6部 サービスマネジメント	第1章 サービスマネジメントの概要 第2章 サービスマネジメントの手法

回	テ ー マ	内 容		
13~ 14	第7部 システム監査と内部統制	第1章 システム監査 第2章 内部統制		
15	期末試験			
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
IT戦略とマネジメント		総合評価	100.0%	

科目名	学科/学年	年度/時期	授業形態
アルゴリズム I	ネットワークセキュリティ 学科/1年	2026/後期	演習
単位数または時間数	必修・選択必修・自由選択		担当教員
2単位 (60時間)	必須		松原 誠
授業の概要			
<p>本授業では、基本情報技術者試験・科目B (午後問題) で頻出するアルゴリズム問題の読解力・解析力を養成するため、インフォテックサーブ社のテキスト『疑似言語で学ぶアルゴリズム』を活用しながら、疑似言語の文法理解から、典型的な処理構造、アルゴリズム設計パターンまでを段階的に学びます。</p> <p>また、実際の過去問題や模擬問題にも取り組みながら、時間内に正確に読解・解答するトレーニングを通じて、試験対応力と論理的思考力を高めます。</p>			
授業終了時の到達目標			
<p>基本情報技術者試験における疑似言語問題を正確に読解・解答できるようになる          逐次・選択・繰返しなどの制御構造を理解し、アルゴリズムの挙動を予測できる          線形探索・二分探索・ソート・スタック・キュー・再帰処理など代表的な処理方法を習得する          実践的な読解演習・過去問演習を通じて時間配分と読解速度を身につける          ロジカルに問題を分解し、コードの流れ・出力・目的を説明できるようになる</p>			
実務経験有無	実務経験内容		
有	<p>20年間、ソフトウェア開発業務に従事。          ウォーターフォールの最上流から最下流まで一貫して担当。          晩年は主にプロジェクトマネジメント業務に従事。</p>		
時間外に必要な学修			
回	テーマ	内 容	
1	オリエンテーション/科目B概要と試験傾向	科目Bの構成とアルゴリズム問題の特徴理解	
2	疑似言語の文法① (基本構文と変数)	入出力、代入、コメントなど基本文法の理解	
3	疑似言語の文法② (制御構造)	if文、while文、for文の使い方	
4	手続きと関数の基礎	引数、戻り値、呼び出しと戻りの理解	
5	配列と添字の考え方	一次元配列、添字処理の基本操作	
6	トレースの方法と出力予測	流れの追跡、表を使ったトレース演習	
7	線形探索とその応用	配列検索処理の実装と応用分析	
8	二分探索アルゴリズム	ソート済みデータの探索処理	
9	ソート① (バブル・選択ソート)	処理手順、ループ構造の理解	
10	ソート② (挿入ソート・応用)	アルゴリズムの違いと目的比較	
11	スタック・キューの基本構造	LIFO/FIFOの動作と活用法	

回	テーマ	内 容		
12	スタック・キューの読解演習	コードと動作の一致を確認		
13	二次元配列の処理	行列・表形式データの操作演習		
14	フラグ変数とループ制御	条件付きループ終了処理の理解		
15	モジュール化と再利用	手続き分割と効率的な記述法		
16	過去問演習①（基礎レベル）	実践形式で理解度確認		
17	再帰処理の理解とトレース	階乗・フィボナッチなどの再帰演習		
18	再帰処理の過去問演習	呼び出しスタックの理解と予測		
19	複雑なフローの処理（ネスト）	入れ子ループや条件分岐の解析		
20	条件分岐とフローの最適化	実装目的と記述の工夫を理解		
21	過去問演習②（中級）	試験形式に慣れるトレーニング		
22	ソート・探索の混合問題	アルゴリズムの組み合わせ処理演習		
23	状態変化を伴う問題（シミュレーション系）	状態遷移・ルール処理の読み解き		
24	処理の目的と意図の把握	問題文と実装の関係を読む練習		
25	応用問題：スコア計算・管理処理など	実務想定 of 処理演習		
26	過去問演習③（応用）	制限時間内での解答トレーニング		
27	模擬試験①	本番を想定した形式で実施		
28	模擬試験②と解説	解答分析・個別フィードバック		
29	弱点補強と総復習	間違いやすい処理の重点解説		
30	最終確認テスト・ふりかえり	理解度チェックと学習成果の整理		
		理解度チェックと学習成果の整理		
	教科書・教材	評価基準	評価率	その他
	疑似言語で学ぶアルゴリズム	課題・レポート	100.0%	

科目名	学科/学年	年度/時期	授業形態
データベース設計	ネットワークセキュリティ 学科/1年	2026/前期	演習
単位数または時間数	必修・選択必修・自由選択		担当教員
1単位 (30時間)	必須		松原 誠
授業の概要			
・データベースについて、その概念から仕組みを理解し、データモデリング、正規化、SQLを用いた基本的なデータ操作、設計プロセスの流れを体系的に学ぶ。			
授業終了時の到達目標			
・データベース構築の技術を習得する。			
実務経験有無	実務経験内容		
有	20年間、ソフトウェア開発業務に従事。 ウォーターフォールの最上流から最下流まで一貫して担当。 晩年は主にプロジェクトマネジメント業務に従事。		
時間外に必要な学修			
基本情報技術者試験のうち「データベース」と合わせて復習する			
回	テーマ	内容	
1	データベースの概要	データベース、SQLとは何か、またデータとファイルの違い	
2	データベースの環境構築	自身のPCにRDBMS環境を構築し、DBクライアントを用いてRDBMSへのアクセス方法を学ぶ ・ XAMPP (MySQL) ・ DBeaver	
3	SQLの基礎知識	記述ルール テーブル操作 (作成、削除) レコード操作 (追加、変更、削除) データ問合せ (抽出)	
4	データベースの設計 (定義)	3層スキーマ (概念スキーマ・外部スキーマ・内部スキーマ) カラムのデータ型、主キー、外部キー テーブル定義書の作成	
5	データベースの設計 (正規化)	第一正規化 第二正規化 第三正規化	
6	テーブル定義 (定義書、ER図) の作成	テーブル定義書、ER図の作成	
7~ 8	テーマ演習	テーマを元に3層スキーマの観点で設計および実装を行う	
9~ 11	演習課題① (設計)	テーマを元に3層スキーマで設計を行う ・ 正規化 ・ テーブル定義の作成	

回	テ ー マ	内 容		
12～ 13	演習課題②（実装）	テーブル定義を元にDBへテーブルを追加するためのクエリを作成		
14～ 15	演習課題③（データ登録と問い合わせ）	データ登録のためのクエリ作成 データ取り合わせのためのクエリ作成		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
・標準SQL+データベース入門 ・ITワールド		課題・レポート	100.0%	

科目名	学科/学年	年度/時期	授業形態
データベース演習	ネットワークセキュリティ 学科/1年	2026/後期	演習
単位数または時間数	必修・選択必修・自由選択		担当教員
1単位 (30時間)	必須		松原 誠
授業の概要			
<p>本授業では、リレーショナルデータベースの基礎とSQLの実践的スキルを学びます。教材『スッキリわかるSQL入門 第3版 (ドリル256問付き)』を活用し、SELECT文を中心に、INSERT・UPDATE・DELETEなどのデータ操作や、JOIN、サブクエリ、集計関数などの応用構文まで体系的に学習します。また、設計されたテーブル構造を正しく理解し、業務的な要求に沿ったデータ抽出ができる力を養成します。</p>			
授業終了時の到達目標			
<p>SQLの基本構文 (SELECT/INSERT/UPDATE/DELETE) を正しく書ける            テーブル設計に基づいて、目的に応じた適切なデータ抽出処理を実行できる            JOINやサブクエリ、グループ集計などの応用SQLを使いこなせる            実務でも通用するレベルのSQL読解・記述力を身につけ、基本情報技術者試験・科目BのSQL問題にも対応できる            実際のデータを活用し、正確かつ効率的な問い合わせを行えるようになる</p>			
実務経験有無		実務経験内容	
有		<p>20年間、ソフトウェア開発業務に従事。            ウォーターフォールの最上流から最下流まで一貫して担当。            晩年は主にプロジェクトマネジメント業務に従事。</p>	
時間外に必要な学修			
復習すること			
回	テーマ	内 容	
1	オリエンテーション/SQLの基礎と環境説明	RDBの概要、教材の構成、学習環境 (SQLite/MySQL/PostgreSQLなど)	
2	SELECT文の基本① (全件取得/列指定)	基本的なSELECT構文、列選択とエイリアス	
3	SELECT文の基本② (WHEREによる絞り込み)	比較演算子、論理演算子、NULLの扱い	
4	集計関数 (COUNT, SUM, AVG, MAX, MIN)	データの集計と結果の見方	
5	GROUP BYとHAVING句	集計単位の指定、条件による絞り込み	
6	ORDER BYによる並び替え	昇順・降順、複数列の並び替え	
7	データベース設計およびSQLの実践①	単純なデータベースの設計、テストパターンデータの登録、SQLの作成を実践	
8	複数テーブルの結合 (INNER JOIN)	リレーシヨンの基本、結合条件の理解	
9	複数テーブルの結合 (OUTER JOIN/自己結合)	欠損値の扱いと結合の応用	
10	サブクエリ① (WHERE内の副問い合わせ)	単一行/複数行サブクエリ	
11	サブクエリ② (FROM句・SELECT句内)	テーブル化/動的列生成の理解	

回	テーマ	内容		
12	集約・結合・サブクエリの複合問題演習	SQLを組み合わせて解決する総合演習		
13～14	データベース設計およびSQLの実践②	実際の設計例をもとに複雑なデータベースの設計、テストパターンデータの登録、SQLの作成を実践		
15	総まとめ・確認テスト・ふりかえり	テスト+ふりかえり・弱点克服指導		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
・標準SQL+データベース入門		課題・レポート	100.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
Java I		ネットワークセキュリティ 学科/1年	2026/前期	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	45回	1単位(30時間)	必須	加地 邑衣
授業の概要				
Java言語を学びながら基本情報技術者試験の科目B試験で問われる、プログラムを読む力を養う。				
授業終了時の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Javaの基本構文、各種命令文を理解し、自らプログラムを読み記述できる</li> <li>・ 基本情報技術者試験の合格</li> </ul>				
実務経験有無		実務経験内容		
有		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ システムエンジニア・プログラマとして、6年の実務経験</li> <li>・ 応用情報技術者試験に合格している</li> </ul>		
時間外に必要な学修				
学習した内容の復習と次回授業の予習を行う				
回	テーマ	内容		
1	開発環境の設定	IntelliJ IDEA をインストール		
2	プログラムに触れる	じゃんけんプログラムを作る		
3	プログラムに触れる	じゃんけんプログラムを作る		
4	プログラムの書き方	Javaの基本構造を理解する		
5	変数宣言	変数宣言について理解する		
6	式と演算子	計算の文(オペランド、評価の仕組み)を理解する		
7	式と演算子	計算の文(演算子、型の変換)を理解する		
8	命令実行	さまざまな命令を呼び出したプログラムを記述する(乱数や画面入力など)		
9	課題	これまで学んだ内容を使って課題を行う		
10	条件分岐と繰り返し	プログラムの流れ、ブロックの書き方、条件式の書き方を理解する		
11	条件分岐と繰り返し	分岐構文のバリエーションを理解する		
12	条件分岐と繰り返し	条件分岐のプログラムを記述する(演習)		
13	条件分岐と繰り返し	繰り返し構文のバリエーションを理解する		

14	条件分岐と繰り返し	繰り返しのプログラムを記述する（演習）
15	課題	これまで学んだ内容を使って課題を行う
16	配列	配列の書き方とfor文との組み合わせを理解する
17	配列	配列を使ったプログラムを記述する（演習）
18	配列	多次元配列について理解する
19	配列	多次元配列を使ったプログラムを記述する（演習）
20	課題	これまで学んだ内容を使って課題を行う
21	メソッド	メソッドについて、引数や戻り値の利用について理解する
22	メソッド	メソッドを使ったプログラムを記述する（演習）
23	課題	これまで学んだ内容を使って課題を行う
24	複数クラスを用いた開発	パッケージについて理解する
25	複数クラスを用いた開発	複数クラスで構成されるプログラムについて理解する
26	課題	これまで学んだ内容を使って課題を行う
27	課題	これまで学んだ内容を使って課題を行う
28	課題	これまで学んだ内容を使って課題を行う
29	課題	これまで学んだ内容を使って課題を行う
30	課題	これまで学んだ内容を使って課題を行う
31	課題	これまで学んだ内容を使って課題を行う
32	課題	これまで学んだ内容を使って課題を行う
33	課題	これまで学んだ内容を使って課題を行う
34	課題	これまで学んだ内容を使って課題を行う
35	課題	これまで学んだ内容を使って課題を行う
36	課題	これまで学んだ内容を使って課題を行う
37	課題	これまで学んだ内容を使って課題を行う

38	課題	これまで学んだ内容を使って課題を行う		
39	課題	これまで学んだ内容を使って課題を行う		
40	課題	これまで学んだ内容を使って課題を行う		
41	課題	これまで学んだ内容を使って課題を行う		
42	課題	これまで学んだ内容を使って課題を行う		
43	課題	これまで学んだ内容を使って課題を行う		
44	課題	これまで学んだ内容を使って課題を行う		
45	課題	これまで学んだ内容を使って課題を行う		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
スッキリわかるJava入門		課題	100%	

科目名	学科/学年	年度/時期	授業形態
ネットワーク演習基礎 I	ネットワークセキュリティ 学科/1年	2026/前期	演習
単位数または時間数	必修・選択必修・自由選択		担当教員
2単位 (60時間)	必須		鹿庭 大樹
授業の概要			
・ 国家資格(基本情報技術者・応用情報技術者)取得に必要な、情報技術の基本的な知識を習得する			
授業終了時の到達目標			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ I P A 修了試験 合格</li> <li>・ 基本情報技術者 合格</li> </ul>			
実務経験有無	実務経験内容		
有	システムエンジニアとして10年、営業として2年の実務経験。 情報処理安全確保支援士試験に合格している。		
時間外に必要な学修			
I Tワールドの第5部ネットワークを一通り目を通しておくこと			
回	テーマ	内 容	
1~ 2	第5部ネットワーク	インターネット ・インターネットの接続方法 ・インターネットの基本構成 ・インターネットサービス	
3~ 4	第5部ネットワーク	インターネット ・インターネットの標準プロトコル	
5~ 6	第5部ネットワーク	ネットワークアーキテクチャ ・ネットワークアーキテクチャとは? ・OSI ・TCP/IP	
7~ 8	第5部ネットワーク	LAN ・LANの基礎技術	
9~ 10	第5部ネットワーク	以下の内容を理解する TCP/IP	
11~ 12	第5部ネットワーク	LAN ・LANの基礎技術	
13~ 14	第5部ネットワーク	LAN ・その他のLAN技術	
15~ 16	第5部ネットワーク	ネットワークの仕組み ・ネットワークの構成要素 ・ネットワークの基礎技術	
17~ 18	第5部ネットワーク	ネットワークの仕組み ・伝送制御手順 ・IoT関連技術	

回	テーマ	内 容		
19～ 20	第5部ネットワーク	ネットワーク管理 ・ネットワーク運用手順 ・ネットワーク管理手法		
21～ 22	過去問題	過去問題の解答と解説		
23～ 24	過去問題	過去問題の解答と解説		
25～ 26	過去問題	過去問題の解答と解説		
27～ 28	過去問題	過去問題の解答と解説		
29～ 30	過去問題	過去問題の解答と解説		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
・ ITワールド ・ ITワールドサブノート		期末試験 課題・レポート	50.0% 50.0%	詳細はclassroom : <a href="https://classroom.google.com/u/0/c/ODU4Njc0MzI1MDQy?hl=ja">https://classroom.google.com/u/0/c/ODU4Njc0MzI1MDQy?hl=ja</a>

科目名	学科/学年	年度/時期	授業形態
ネットワーク演習基礎Ⅱ	ネットワークセキュリティ 学科/1年	2026/後期	演習
単位数または時間数	必修・選択必修・自由選択		担当教員
2単位 (90時間)	必須		鹿庭 大樹
授業の概要			
Cisco資格 CCNA資格を目指し、ルーティングとスイッチングの基礎を理解させる			
授業終了時の到達目標			
基本情報技術者試験 合格レベル CCNA 合格レベル (旧CCENT範囲まで)			
実務経験有無	実務経験内容		
有	システムエンジニアとして10年、営業として2年の実務経験。 情報処理安全確保支援士試験に合格している。		
時間外に必要な学修			
次回の授業内容を踏まえてテキストを用いて予習する			
回	テーマ	内容	
1	ネットワークの仕組み	ネットワークの種類と特徴 ネットワークの基本構成 ネットワークの基礎技術	
2	ネットワークの仕組み	伝送制御手順 通信サービス	
3	ネットワークアーキテクチャ	ネットワークアーキテクチャとは OSI	
4	ネットワークアーキテクチャ	TCP/IP	
5	LAN	LANの基礎技術 その他のLAN技術	
6	インターネット	TCP/IPプロトコル	
7	インターネット	インターネットの基本構成 インターネットサービス	
8	ネットワーク管理	ネットワーク運用管理	
9	ネットワーク管理	ネットワーク管理手法	
10	IPv4アドレスとサブネット	IPv4アドレス サブネットワーク	
11	IPv4アドレスとサブネット	IPアドレッシングの計算	
12	IPv4アドレスとサブネット	VLSM	

回	テーマ	内容
13	Cisco IOSソフトウェアの操作	Ciscoデバイスへの接続 Cisco IOSのモード IOS操作とヘルプ機能 コンフィギュレーションの保存 Cisco IOSの接続診断ツール
14	Cisco IOSソフトウェアの操作	演習①
15	Catalystスイッチの導入	Catalystスイッチの初期起動 スイッチの基本設定
16	Catalystスイッチの導入	スイッチの基本設定の確認
17	Catalystスイッチの導入	MACアドレステーブル
18	Catalystスイッチの導入	2重モードと速度の設定
19	Catalystスイッチの導入	演習②
20	Ciscoルータの導入	Ciscoルータの初期起動
21	Ciscoルータの導入	ルータの基本設定
22	Ciscoルータの導入	ルータの基本設定の確認
23	Ciscoルータの導入	演習③
24	ルーティングの基礎	ルーティング
25	ルーティングの基礎	スタティックルーティング
26	ルーティングの基礎	ダイナミックルーティング
27	ルーティングの基礎	経路集約
28	ルーティングの基礎	メトリックとアドミニストレーティブディスタンス
29	ルーティングの基礎	演習④
30	期末課題	期末課題
31		
32		
33		
34		

回	テ ー マ	内 容		
35				
36				
37				
38				
39				
40				
41				
42				
43				
44				
45				
	教科書・教材	評価基準	評価率	その他
	Cisco Networking Academy Web教材	実習・実技評価	100.0%	詳細はClassroom参照

科目名	学科/学年	年度/時期	授業形態	
フロントエンド・コーディング入門	ネットワークセキュリティ 学科/1年	2026/前期	演習	
単位数または時間数	必修・選択必修・自由選択		担当教員	
1単位 (30時間)	必須		松原 誠	
授業の概要				
HTML及びCSSの基礎知識を学ぶ				
授業終了時の到達目標				
HTML、CSSの基本的な記述のWEBサイトの構築方法の習得 WordPressを用いたテンプレートからのWEBサイト作成方法の習得				
実務経験有無		実務経験内容		
有		20年間、ソフトウェア開発業務に従事。 ウォータフォールの最上流から最下流まで一貫して担当。 晩年は主にプロジェクトマネジメント業務に従事。		
時間外に必要な学修				
復習すること				
回	テーマ	内容		
1	Webの基礎知識	<ul style="list-style-type: none"> <li>個人毎の現時点での理解度チェック</li> <li>Webサイト表示の仕組み</li> <li>VSCodeのインストール/HTML動作確認</li> </ul>		
2	言語基礎知識 (HTML)	<ul style="list-style-type: none"> <li>HTMLコーディングの基礎</li> </ul>		
3	言語基礎知識 (CSS)	<ul style="list-style-type: none"> <li>CSSコーディングの基礎</li> <li>レスポンシブ (web) デザインの実装</li> </ul>		
4~ 5	WordPress	<ul style="list-style-type: none"> <li>WordPressをローカル環境へ構築</li> <li>WordPressを利用したWebページとして利用</li> </ul>		
6~ 7	課題①	<ul style="list-style-type: none"> <li>既に作成されているWebサイトの修正</li> </ul>		
8~ 9	課題②	<ul style="list-style-type: none"> <li>既に作成されているWebサイトの変更</li> </ul>		
10~ 15	課題制作①	<ul style="list-style-type: none"> <li>テーマを選択しWEBサイトを作成、発表</li> <li>※自己紹介、趣味紹介、推し活 のいずれかより選定</li> </ul>		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
Web制作必携 HTML&CSS 全辞典 改訂4版		課題・レポート	100.0%	

科目名	学科/学年	年度/時期	授業形態
情報処理講座 I	ネットワークセキュリティ 学科/1年	2026/前期	講義
単位数または時間数	必修・選択必修・自由選択		担当教員
4単位 (60時間)	必須		梶河沙, 松原
授業の概要			
基本情報技術者試験科目AB対策の分野別対策を行う。			
授業終了時の到達目標			
【前期】情報活用試験 1級合格 (J検定) 【後期】情報システム試験合格 (J検定) 【後期】基本情報技術者試験合格			
実務経験有無	実務経験内容		
時間外に必要な学修			
問題集及び過去問を解く			
回	テーマ	内 容	
1	情報活用試験 3級	問題答練・解説	
2	PC概論、ネットワーク等補足	問題回答・解説	
3	情報活用試験 3級	問題答練・解説	
4	PC概論、ネットワーク等補足	問題回答・解説	
5	情報活用試験 3級	問題答練・解説	
6	PC概論、ネットワーク等補足	問題回答・解説	
7	情報活用試験 3級	問題答練・解説	
8	PC概論、ネットワーク等補足	問題回答・解説	
9	情報活用試験 2級	問題答練・解説	
10	PC概論、ネットワーク等補足	問題回答・解説	
11	情報活用試験 2級	問題答練・解説	
12	PC概論、ネットワーク等補足	問題回答・解説	
13	情報活用試験 2級	問題答練・解説	
14	PC概論、ネットワーク等補足	問題回答・解説	

回	テ ー マ	内 容		
15	情報活用試験 2級	問題答練・解説		
16	PC概論、ネットワーク等補足	問題回答・解説		
17	情報活用試験 2級	問題答練・解説		
18	PC概論、ネットワーク等補足	問題回答・解説		
19	情報活用試験 1級	問題答練・解説		
20	PC概論、ネットワーク等補足	問題回答・解説		
21	情報活用試験 1級	問題答練・解説		
22	PC概論、ネットワーク等補足	問題回答・解説		
23	情報活用試験 1級	問題答練・解説		
24	PC概論、ネットワーク等補足	問題回答・解説		
25	情報活用試験 1級	問題答練・解説		
26	PC概論、ネットワーク等補足	問題回答・解説		
27	情報活用試験 1級	問題答練・解説		
28	PC概論、ネットワーク等補足	問題回答・解説		
29	情報活用試験 1級	問題答練・解説		
30	PC概論、ネットワーク等補足	問題回答・解説		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
基本情報技術者試験科目A問題集 基本情報技術者試験科目B問題集		確認テスト	100.0%	

科目名	学科/学年	年度/時期	授業形態
情報処理講座Ⅱ	ネットワークセキュリティ 学科/1年	2026/後期	講義
単位数または時間数	必修・選択必修・自由選択		担当教員
4単位 (60時間)	必須		梶河沙, 松原
授業の概要			
情報システム試験 (J検定) 基本スキル・システムデザインスキル・プログラミングスキルの合格を目指し演習中心で学習 基本情報技術者試験 (FE) 合格を目標に、実務に即した疑似言語読解・アルゴリズム・データベース・表計算・ネットワーク・セキュリティなどの重点分野を演習中心で学習します。			
授業終了時の到達目標			
情報システム試験 (基本スキル・システムデザインスキル・プログラミングスキル) 合格 基本情報技術者試験合格			
実務経験有無	実務経験内容		
時間外に必要な学修			
回	テーマ	内容	
1	iBut検定	iBut検定 2回目実施	
2	情報システム試験 基本スキル	過去問題対策	
3	情報システム試験 基本スキル	小テスト	
4	情報システム試験 基本スキル	過去問題対策	
5	情報システム試験 基本スキル	小テスト	
6	情報システム試験 基本スキル	過去問題対策	
7	情報システム試験 基本スキル	小テスト	
8	情報システム試験 基本スキル	過去問題対策	
9	情報システム試験 基本スキル	小テスト	
10	情報システム試験 基本スキル	過去問題対策	
11	情報システム試験 基本スキル	検定	
12	情報システム試験 システムデザインスキル	過去問題対策	
13	情報システム試験 システムデザインスキル	小テスト	
14	情報システム試験 システムデザインスキル	過去問題対策	

回	テ ー マ	内 容		
15	情報システム試験 システムデザインスキル	小テスト		
16	情報システム試験 システムデザインスキル	過去問題対策		
17	情報システム試験 システムデザインスキル	小テスト		
18	情報システム試験 システムデザインスキル	過去問題対策		
19	情報システム試験 システムデザインスキル	検定		
20	基本情報技術者試験 科目A免除	科目A免除対策		
21	基本情報技術者試験 科目A免除	科目A免除対策		
22	基本情報技術者試験 科目A免除	科目A免除対策		
23	基本情報技術者試験 科目A免除	科目A免除対策		
24	基本情報技術者試験 科目A免除	科目A免除対策		
25	基本情報技術者試験 科目A免除	科目A免除対策		
26	基本情報技術者試験 科目A免除	科目A免除対策		
27	情報システム試験 プログラミングスキル	検定		
28	検定対策	各自で検定対策 検定受験		
29	検定対策	各自で検定対策 検定受験		
30	検定対策	各自で検定対策 検定受験		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
基本情報技術者試験科目A対策 基本情報技術者試験科目B対策		確認テスト	100.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
情報セキュリティ I		ネットワークセキュリティ学科/1年	2026/前期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	20回	2単位(時間)	必須	木部 克哉

授業の概要

基本情報技術者試験のセキュリティ分野

授業終了時の到達目標

・国家資格(基本情報技術者・応用情報技術者)取得に必要な、情報技術の基本的な知識を習得する

実務経験有無

実務経験内容

有

6年間プログラマ、エンジニアとして自社ソフトの開発、運用、サーバの保守等、派遣にてPOSシステム改修等を行う。

時間外に必要な学修

次回の授業内容を踏まえてテキストを用いて予習する

回	テーマ	内容
1	情報セキュリティ概念	機密性安全性可用性などの用語学ぶ
2	情報セキュリティ概念	資産、脅威について学ぶ
3	情報セキュリティ概念	人的脅威、技術的脅威について学ぶ
4	情報セキュリティ技術	共通鍵暗号方式、公開鍵暗号方式などについて学ぶ
5	情報セキュリティ技術	認証技術について学ぶ
6	情報セキュリティ技術	認証技術について学ぶ
7	情報セキュリティ技術	メッセージ認証、デジタル署名について学ぶ
8	情報セキュリティ管理	セキュリティポリシー、ISMS、PDCAサイクルなどについて学ぶ
9	情報セキュリティ管理	リスクマネジメントなどについて学ぶ
10	情報セキュリティ機関・評価基準	情報セキュリティ機関について学ぶ
11	情報セキュリティ機関・評価基準	情報セキュリティ評価基準について学ぶ
12	物理的セキュリティ対策	物理的なセキュリティの対策について学ぶ
13	人的セキュリティ対策	人的なセキュリティの対策について学ぶ
14	技術的セキュリティ対策	ハードウェアやネットワークなどの技術的なセキュリティ対策について学
15	技術的セキュリティ対策	ハードウェアやネットワークなどの技術的なセキュリティ対策について学
16	セキュリティ実装技術	セキュアプロトコルについて学ぶ
17	セキュリティ実装技術	ネットワークセキュリティについて学ぶ

回	テ ー マ	内 容		
18	セキュリティ実装技術	ネットワークセキュリティについて学ぶ		
19	セキュリティ実装技術	データベースセキュリティについて学ぶ		
20	期末試験			
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
ITワールド		課題・レポート 期末試験	50.0% 50.0%	

科目名	学科/学年	年度/時期	授業形態
情報セキュリティⅡ	ネットワークセキュリティ 学科/1年	2026/後期	講義
単位数または時間数	必修・選択必修・自由選択		担当教員
2単位(60時間)	必須		片山, 木部
授業の概要			
「情報セキュリティマネジメント試験」に出題される情報セキュリティに関する技術や知識を学ぶ。			
授業終了時の到達目標			
情報セキュリティマネジメント試験合格			
実務経験有無		実務経験内容	
有		システムエンジニア・プログラマとして、フリー期間も併せて15年の実務経験 「よくわかるインターネット基本操作(西東社)」など著書多数 情報処理安全確保支援士(セキュリティスペシャリスト)試験に合格している	
時間外に必要な学修			
テキストの復習 過去問の答練			
回	テーマ	内容	
1	目標資格について	「情報セキュリティマネジメント試験」について	
2	第1章 サイバー攻撃手法	サイバー攻撃の手口と技術について	
3	第2章 暗号と認証	暗号化技術について	
4	第3章 情報セキュリティ管理	情報セキュリティへの取り組みについて	
5	第4章 情報セキュリティ対策	脅威への対策について	
6	第5章 情報セキュリティ製品	ウイルス対策ソフト等のセキュリティ対策製品について	
7	第6章 セキュリティ関連法規	情報セキュリティに関する法律等	
8	第7章 テクノロジー系	国家試験で出題されるテクノロジー分野の問題について	
9	第8章 マネジメント系	国家試験で出題されるマネジメント分野の問題について	
10	第9章 ストラテジ系	国家試験で出題されるストラテジ分野の問題について	
11	過去問答練	過去問答練	
12	〃	〃	
13	〃	〃	

回	テ ー マ	内 容		
14	"	"		
15	"	"		
16	"	"		
17	"	"		
18	"	"		
19	"	"		
20	"	"		
21	"	"		
22	"	"		
23	"	"		
24	"	"		
25	"	"		
26	"	"		
27	"	"		
28	"	"		
29	"	"		
30	"	"		
	教科書・教材	評価基準	評価率	その他
	徹底攻略 情報セキュリティマネジメント 教科書 令8年度	課題・レポート	100.0%	

科目名	学科/学年	年度/時期	授業形態
サーバ構築演習	ネットワークセキュリティ 学科/1年	2026/後期	演習
単位数または時間数	必修・選択必修・自由選択		担当教員
3単位 (90時間)	必須		片山 満久
授業の概要			
Linuxサーバの構築			
授業終了時の到達目標			
Linuxの詳細な基本管理事項を覚える。 Linuxのセキュリティを理解し設定する。			
実務経験有無	実務経験内容		
有	システムエンジニア・プログラマとして、フリー期間も併せて15年の実務経験 「よくわかるインターネット基本操作(西東社)」など著書多数 情報処理安全確保支援士(セキュリティスペシャリスト)試験に合格している		
時間外に必要な学修			
回	テーマ	内容	
1	セキュリティ管理	SELinuxの設定(有効化、無効化)	
2	ネットワークサーバー構築	ルーターの設定	
3	ネットワークサーバー構築	NAPTサーバーの設定	
4	DNSサーバー構築	CentOSをVirtualboxへインストールする DNSの設定	
5	運用管理	ユーザ管理とグループ管理	
6	運用管理	ログ管理、監視	
7	運用管理	サーバ監視	
8	シェルスクリプト 概要	シェルスクリプトの役割と基本的な記述方法	
9	シェルスクリプト 環境変数	環境変数について 環境変数の式	
10	シェルスクリプト 制御構文	制御構文	
11~ 12	CentOSセキュリティ対策	監視と検知 OSインストールとセキュリティパッケージ導入	
13~ 14	CentOSセキュリティ対策	監視と検知	
15~ 16	CentOSセキュリティ対策 SSH	SSHとは /etc/sshディレクトリ	

回	テーマ	内 容		
17～ 18	GentOSセキュリティ対策 SSH	鍵の生成と管理		
19～ 20	GentOSセキュリティ対策 SSH	ポート転送		
21～ 22	GentOSセキュリティ対策 SELinux	SELinuxのセキュリティコンテキスト・アクセス制御		
23～ 24	GentOSセキュリティ対策 SELinux	ポリシーの変更 (Apache HTTP Server向け)		
25～ 26	ディスク管理とパーティショニング Linuxのディスク管理	ブートシステム		
27～ 28	ディスク管理とパーティショニング Linuxのディスク管理	パーティションとツール		
29～ 30	ディスク管理とパーティショニング Linuxのディスク管理	ファイルシステム構築		
31～ 32	ディスク管理とパーティショニング Linuxのディスク管理	スワップ領域		
33～ 34	ディスク管理とパーティショニング Linuxのディスク管理	不整合チェック		
35～ 36	ディスク管理とパーティショニング Linuxのディスク管理	バックアップとレストア		
37～ 38	ディスク管理とパーティショニング Linuxのディスク管理	クォータ		
39～ 45	課題	セキュリティを意識したサーバ構築		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
TECHNICAL MASTER はじめてのAlmaLinux 9 & Rocky Linux 9 Linuxサーバエンジニア入門編		課題・レポート	100.0%	

科目名	学科/学年	年度/時期	授業形態
社会人基礎講座 I	ネットワークセキュリティ 学科/1年	2026/前期	講義
単位数または時間数	必修・選択必修・自由選択		担当教員
2単位 (30時間)	必須		梶河 沙耶子
授業の概要			
<ul style="list-style-type: none"> <li>すべてのビジネスパーソンが身に付けるべきリテラシーを学ぶ</li> <li>データサイエンティストの思考を学ぶ</li> <li>ChatGPTの仕組み・使い方を理解し、留意点を学ぶ</li> <li>AIの全体像を理解する、生成AIの全体像を理解する</li> <li>AIに入力するプロンプトの作成を理解する</li> <li>DXとはを理解し、日常をDXに置き換えて変化させることができる</li> </ul>			
授業終了時の到達目標			
<ul style="list-style-type: none"> <li>データサイエンティストの思考が理解できる</li> <li>DXとは何かを理解する</li> <li>AIを使いこなせる</li> </ul>			
実務経験有無	実務経験内容		
時間外に必要な学修			
<ul style="list-style-type: none"> <li>生活する中で身近なIT技術を見つける・触れてみる</li> <li>DXで問題解決が出来るのかを、常に意識しておく</li> </ul>			
回	テーマ	内容	
1	オリエンテーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業の進め方</li> <li>DX・AIとは (使える人材となるために)</li> </ul>	
2	DXリテラシー_I	第1章 活用事例 (How) からDXの背景 (Why) を知る -リモートワーク・キャッシュレス決済・ネットショッピング・フリマアプリ・民泊・映画・ドラマ・音楽・チャットボット・ヘルスケア 第2章 デジタル技術 (What) を知る -Wi-Fi・クラウド・認証技術・AIによるレコメンド・AIによる自然言語処理、音声認識、自動翻訳	
3	DXリテラシー_II	第3章 デジタルツールの活用例 (How) を知る -コミュニケーションツール・スケジュール管理・ビジネスチャット・音声認識による議事録作成・定型作業の自動化 第4章 デジタルツール利用での留意点 (How) を知る -ヒヤリハット・セキュリティ・モラル・コンプライアンス	
4	紙とえんぴつで始めるデータサイエンス入門_I	第1章 デジタル時代に必要なデータリテラシー -デジタル社会の「読み・書き・そろばん」?・データサイエンティストはどう考える? 第2章 データを読む力を身につける -データを読む・平均値とは -不適切なグラフとは	

回	テーマ	内容
5	紙とえんぴつで始めるデータサイエンス入門_Ⅱ	<p>第3章 データから予測する力を身につける①</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>-データから予測する <ul style="list-style-type: none"> <li>・空欄を埋めよ!</li> <li>・売上本数を予測せよ!</li> </ul> </li> </ul> <p>第4章 データから予測する力を身につける②</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>-世帯収入を予測せよ!</li> <li>・仮設思考</li> </ul>
6	LLMリテラシー_Ⅰ	<p>1. LLM/ChatGPTとは</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>-ChatGPTで何ができるの?</li> <li>-生成AI (Generative AI) とは?</li> <li>-LLM (Large Language Model: 大規模言語モデル) とは?</li> <li>-自然言語処理とは?</li> <li>-ChatGPT (チャットジーピーティー) とは</li> <li>-ChatGPT利用時の留意点</li> </ul>
7	LLMリテラシー_Ⅱ	<p>2. ChatGPTの利用準備</p> <p>3. ChatGPTを使ってみよう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>-実際に使ってみよう</li> <li>-ビジネスで使えるプロンプト例</li> </ul> <p>4. LLMの活用事例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>-マニュアル自動作成ツール</li> <li>-会議録画の文字起こし・要約</li> </ul>
8	イメージで理解するAI/生成AI_Ⅰ	<p>AIの基礎</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>-AI (機械学習) はどのように賢くなるか?</li> </ul> <p>AIを理解するための全体像</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>-AIを理解するための全体像</li> </ul> <p>AIモデルの作り方</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>-【補足】 AIモデルを作るためのツール</li> </ul>
9	イメージで理解するAI/生成AI_Ⅱ	<p>識別と生成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>-識別と生成を理解する</li> </ul> <p>生成モデルのトレンド理解</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>-生成AIを業務で活用するためのスタンスとは</li> <li>-生成AIのトレンドの全体像を理解する</li> </ul>
10	ユースケースで理解する生成AI_Ⅰ	<p>1. イントロダクション</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>-データダウンロード</li> </ul> <p>2. 生成AI概要の復習</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>-問題演習</li> </ul>
11	ユースケースで理解する生成AI_Ⅱ	<p>3. 実践：業務で活用できるユースケース</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>-ユースケースでプロンプトを学ぶ</li> <li>-演習・デモ・解説</li> </ul> <p>4. まとめ</p>

回	テーマ	内 容		
12	DXマインドスタンス_I	1. DX時代のマインド・スタンスとは 1-1. そもそもDX(デジタルトランスフォーメーション)とは 1-2. DXとデジタル化の違い 1-3. DXで一変する私たちの暮らしと働き方 1-4. DXで求められる働き方と意識の変化 1-5. DXリテラシーにおけるマインド・スタンスについて		
13	DXマインドスタンス_II	2. DXのマインド・スタンスを知る 2-1. 顧客・ユーザーへの共感 2-2. 常識にとらわれない発想 2-3. 反復的なアプローチ 2-4. 変化への適応		
14	DXマインドスタンス_III	2. DXのマインド・スタンスを知る 2-5. コラボレーション 2-6. 柔軟な意思決定 2-7. 事実に基づく判断		
15	DXマインドスタンス_IV	3. DXマインド・スタンスを自分事化する - 【演習】自らの行動目標をまとめる		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
NEC eトレーニング		課題・レポート NEC認定	30.0% 70.0%	

科目名	学科/学年	年度/時期	授業形態
社会人基礎講座Ⅱ	ネットワークセキュリティ 学科/1年	2026/後期	講義
単位数または時間数	必修・選択必修・自由選択		担当教員
2単位 (30時間)	必須		鹿庭 大樹
授業の概要			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・就職活動の流れを知り、いつ、何を、どんな形でやるべきかを理解する</li> <li>・就職活動に臨むにあたり必要な常識、マナー、ルールを理解する</li> <li>・自己分析を行うとともに、自分の考えを他人に理解してもらう為に必要な表現力を高める</li> </ul>			
授業終了時の到達目標			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・就職活動の一連の流れを理解し、行動することができる</li> <li>・身に付けた専門技術・知識について聞き手が理解しやすい言葉・文章で伝えることができる</li> <li>・自己分析を行った上で、状況、立場に応じた自己PRを行うことができる</li> </ul>			
実務経験有無	実務経験内容		
有	システムエンジニアとして10年、営業として2年の実務経験。 情報処理安全確保支援士試験に合格している。		
時間外に必要な学修			
回	テーマ	内容	
1	「就職活動の世界」を知る	就職の意義、働くとはについて 企業が求める人材について 就職活動（セミナー、会社訪問、入社試験）について 穴吹学園の就職活動ルールについて	
2	モノの見方	以下、グループと全体で確認と共有。 ・自分のモノの見方の特徴 ・モノの見方を広げるためにはどうしたらいいのか。	
3	考え方	以下、グループと全体で確認と共有。 ・ブレストとは、帰納法とは ・ロジックツリーを体験 議論：「就活はどんな場であるか」	
4	文章の書き方と構成の仕方	課題：「私の住んでいる街」をテーマに800字で作文を書く	
5	プレゼンの基礎を学ぶ	前回の課題をグループ内で発表する。 お互いの良い点・改善点を挙げる。	
6	ディスカッションの基本	テーマを与え、議論(ディスカッション)する (25分) 良い点・改善点をお互いに挙げる	
7	履歴書の書き方と伝え方	自分の基本情報と趣味を書いてみる。グループで回し読みをし、評価をする。	
8	自分を知る工夫 記憶からたどる 他者の力を借りる	以下、グループで確認と共有。 ・ベストニュースや20答法を発表し、どんな特性（強み）があるのか、グループで議論。  課題：お互いを取材し、相手の自己PRを作る。	

回	テ ー マ	内 容		
9	自己PR（自己紹介文）を書く	前回の授業を踏まえ10のステップで書いたものを、800字以内でまとめる。 グループ内で回し読みをし、評価をする（良い点・改善点）		
10	学生時代に力を入れたことを書く	グループ内で回し読みをし、評価をする（良い点・改善点）グループで良いものを全体で発表する		
11	仕事の見つけ方 世の中の仕事を知る 自分の合った仕事・会社を探す	調べたことをグループや全体で共有する		
12	志望動機を書く	グループ内で回し読みをし、良い点・改善点を挙げる		
13	面接の基本	面接時の基本的な対応について		
14～ 15	面接ロールプレイング	学生、面接官役となり、面接の体験する		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
・就職の手引き ・熱血！森吉弘の就勝ゼミ教材		総合点	100.0%	

科目名	学科/学年	年度/時期	授業形態
ネットワーク演習応用	ネットワークセキュリティ 学科/2年	2026/前期	演習
単位数または時間数	必修・選択必修・自由選択		担当教員
3単位 (90時間)	必須		片山 満久
授業の概要			
CiscoNetworkingAcademyの教材を利用して、Switch、Routerの基本設定からルーティングとスイッチング技術、Wirelessネットワーク技術の習得をパケットトレーサーを使いながら学習する。			
授業終了時の到達目標			
①CiscoNetworkingAcademyの修了 ②CCNA取得			
実務経験有無	実務経験内容		
有	システムエンジニア・プログラマとして、フリー期間も併せて15年の実務経験 「よくわかるインターネット基本操作(西東社)」など著書多数 情報処理安全確保支援士(セキュリティスペシャリスト)試験に合格している		
時間外に必要な学修			
回	テーマ	内 容	
1~ 2	前年度の復習①	CCNAv7: Introduction to Networksの復習	
3~ 4	アクセスリストの考え方と設定	アクセスリストを用いてネットワークの制限をかける	
5	DHCPプロトコル	IPアドレスの割当	
6	アドレス変換	NATおよびPATの設定	
7	STPプロトコル	スパンニングツリープロトコルを設定する	
8	VLAN	VLANを設定する	
9	EtherChannel	イーサチャンネルを設定する	
10	HSRP	ネットワーク機器の冗長化	
11	スタティックルーティング	静的ルーティングとデフォルトルートの設定	
12	ダイナミックルーティング	RIPの設定	
13	ダイナミックルーティング	OSPFの設定	
14	IOSの管理とその他の管理機能	iOSのバージョン管理とTFTPサーバーについて	
15	ネットワークアーキテクチャ	LAN、WANの設計基礎	

回	テ ー マ	内 容		
16~ 18	セキュリティ機能	セキュリティの基礎知識とネットワークデバイスの保護		
19	ワイヤレスLAN	ワイヤレスLANの基礎およびセキュリティについて学ぶ		
20	ネットワークの自動化とプログラマビリティ	SDNの概要と実装		
21	ネットワーク図の作成 I	エンジニアとしてネットワーク図(物理・論理)がかけるようになる。		
22~ 25	CCNA2の章末問題対策			
26	CCNA2の章末問題			
27~ 29	CCNA2FinalExam対策			
30	CCNA2FinalExam			
31~ 33	CCNA3章末問題対策			
34	CCNA3章末問題			
35~ 39	CCNA3FinalExam対策			
40	CCNA3FinalExam			
41~ 45	トラブルシューティングコンテスト 問題作成	ミニトラコン問題作成		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
CiscoNetworkingAcademyテキスト CCNAv7 : Switching, Routing, and Wireless Essentials CCNAv7 : Enterprise Networking, Security, and Automation		課題・レポート	100.0%	詳細はClassroom参照： <a href="https://classroom.google.com/u/0/c/ODU4Njc3MzU1OTM1?hl=ja">https://classroom.google.com/u/0/c/ODU4Njc3MzU1OTM1?hl=ja</a>

科目名	学科/学年	年度/時期	授業形態
サイバー攻撃・防御演習 I	ネットワークセキュリティ 学科/2年	2026/前期	演習
単位数または時間数	必修・選択必修・自由選択		担当教員
2単位 (60時間)	必須		鹿庭, 木部
授業の概要			
仮想環境を使って、安全な環境下での攻撃と防御の手法を習得する			
授業終了時の到達目標			
サイバー攻撃の手法を理解し、正しい対応を習得する A段階 脆弱性を発見、レポートに纏めるのに十分な力がある B段階 脆弱性の発見又はレポートに纏める力をもう一歩磨くべきである C段階 Linuxやサーバーといった基本的な知識から深める必要がある			
実務経験有無	実務経験内容		
有	システムエンジニアとして10年、営業として2年の実務経験。 情報処理安全確保支援士試験に合格している。		
時間外に必要な学修			
多種多様なOSやツールをひとつのPCに導入するので、環境が壊れることのないように各種ファイルやインストールデータの扱いに気をつけること			
回	テーマ	内 容	
1	ハッキングラボの構築	KaliLinuxとは KaliLinuxのインストール	
2	ハッキングラボの構築	KaliLinuxのカスタマイズ	
3~ 11	脆弱性のあるLinuxのハッキング	Metasploitable2の導入 Metasploitable2の初期設定 Metasploitable2への攻撃	
12~ 16	LANのハッキング	Wiresharkのインストール Wiresharkでのパケットキャプチャ	
17~ 23	LANのハッキング	ARPスプーフィング DNSスプーフィング	
24~ 30	LANのハッキング	ペネトレーションツール	
教科書・教材		評価基準	評価率
なし		課題・レポート	100.0%
			その他 詳細はClassroom : <a href="https://classroom.google.com/u/0/c/ODQ40Dc4NjYyODI4?hl=ja">https://classroom.google.com/u/0/c/ODQ40Dc4NjYyODI4?hl=ja</a>

科目名	学科/学年	年度/時期	授業形態
情報セキュリティⅢ	ネットワークセキュリティ 学科/2年	2026/前期	講義
単位数または時間数	必修・選択必修・自由選択		担当教員
4単位 (60時間)	必須		片山, 鹿庭
授業の概要			
「情報セキュリティマネジメント試験」及び「情報処理安全確保支援士試験」に出題される情報セキュリティに関する技術や知識を学ぶ。			
授業終了時の到達目標			
情報セキュリティマネジメント試験合格 情報処理安全確保支援士試験合格			
A段階 セキュリティに関する技術や知識を十分身に付けている。 B段階 セキュリティに関する技術や知識をある程度身に付けている。 C段階 セキュリティに関する技術や知識について、引続き勉強が必要である。			
実務経験有無	実務経験内容		
有	SEとして10年、営業として2年の実務経験 情報セキュリティマネジメント試験、情報処理安全確保支援士試験に合格している。		
時間外に必要な学修			
テキストの復習 過去問の答練			
回	テーマ	内容	
1	目標資格について	「情報セキュリティマネジメント試験」及び「情報処理安全確保支援士試験」について	
2	第1章 サイバー攻撃手法	サイバー攻撃の手口と技術について	
3	第2章 暗号と認証	暗号化技術について	
4	第3章 情報セキュリティ管理	情報セキュリティへの取り組みについて	
5	第4章 情報セキュリティ対策	脅威への対策について	
6	第5章 情報セキュリティ製品	ウイルス対策ソフト等のセキュリティ対策製品について	
7	第6章 セキュリティ関連法規	情報セキュリティに関する法律等	
8	第7章 テクノロジー系	国家試験で出題されるテクノロジー分野の問題について	
9	第8章 マネジメント系	国家試験で出題されるマネジメント分野の問題について	
10	第9章 ストラテジ系	国家試験で出題されるストラテジ分野の問題について	
11	過去問答練	過去問答練	
12	〃	〃	
13	〃	〃	

回	テ ー マ	内 容		
14	"	"		
15	"	"		
16	"	"		
17	"	"		
18	"	"		
19	"	"		
20	"	"		
21	"	"		
22	"	"		
23	"	"		
24	"	"		
25	"	"		
26	"	"		
27	"	"		
28	"	"		
29	"	"		
30	期末試験	期末試験		
	教科書・教材	評価基準	評価率	その他
	令和8年度 徹底攻略 情報処理安全確保支援士教科書	課題・レポート	100.0%	詳細はclassroom : <a href="https://classroom.google.com/u/0/c/ODU4Njc1MTkyNTQx?hl=ja">https://classroom.google.com/u/0/c/ODU4Njc1MTkyNTQx?hl=ja</a>

科目名	学科/学年	年度/時期	授業形態
AWSクラウド演習	ネットワークセキュリティ 学科/2年	2026/前期	演習
単位数または時間数	必修・選択必修・自由選択		担当教員
2単位 (60時間)	必須		鹿庭, 木部
授業の概要			
AWS (Amazon Web Service) のサービスを利用するうえで基本となる知識をハンズオンで体系的に学ぶ。			
授業終了時の到達目標			
AWSに関する基礎知識を持ち、簡単なインフラを構築できる。 A段階 AWSの基本的な知識を持っており、VPCの構築を行える。 B段階 AWSについてある程度知識を持っており、EC2の構築を行える。 C段階 AWSについて概要の説明ができる。			
実務経験有無	実務経験内容		
有	SEとして10年、営業として2年の実務経験 AWS Certified Cloud Practitioner、AWS Certified Solutions Architect - Associate を取得済み		
時間外に必要な学修			
回	テーマ	内容	
1	モジュール0 : コース紹介 ・ AWSとは ・ AWS academyのコース紹介	AWS Academy Cloud Foundations コースの目的 AWS 認定試験について AWS 公式サイトについて	
2	モジュール1 : クラウドのコンセプト ラボ環境の使い方	さまざまなクラウドコンピューティングモデルの種類について クラウドコンピューティングの6つの利点について 主要な AWS のサービスカテゴリとコアサービスについて AWS Cloud Adoption Framework (AWS CAF) について	
3~ 4	モジュール2 : クラウドエコノミクスと請求	AWS の料金理念について 料金設定の基本的な要素について 総所有コストの要素について 簡易見積りツールの結果について コストに関するデータを確認し、請求とアカウントの可視化について AWS 請求ダッシュボードの機能について AWS 請求書、AWS Cost Explorer、AWS Budgets、AWS のコストと使用状況レポートの使用方法について さまざまな AWS テクニカルサポートプランと特徴について	
5~ 6	モジュール3 : AWS グローバルインフラストラクチャの概要	AWS リージョン、アベイラビリティゾーン、エッジロケーションの違いについて AWS のサービスとサービスカテゴリについて	

回	テーマ	内容
7~ 8	モジュール 4 : AWS クラウドのセキュリティ	責任共有モデルについて お客様と AWS の責任について IAM のユーザー、グループ、ロールについて IAM のさまざまな種類のセキュリティ認証情報について 新しい AWS アカウントを保護する手順 IAM のユーザーとグループについて AWS データを保護する方法の理解 AWS コンプライアンスプログラムについて
9~ 10	モジュール 5 : ネットワークとコンテンツ配信	ネットワークの基本の確認 Amazon VPC を使用したクラウドの仮想ネットワークについて VPC を構築する手順について セキュリティグループについて 自分で VPC を作成して、それにコンポーネントを追加し、カスタマイズされたネットワークを作成する Amazon Route 53 の基本事項について Amazon CloudFront のメリット
11	ラボ①	VPCを利用する演習
12~ 13	モジュール 6 : コンピューティング	EC2 マナジメントコンソールの機能について Amazon EC2 で基本的な機能を実行し、仮想コンピューティング環境を構築する Amazon EC2 のコスト最適化要素について AWS Elastic Beanstalk をいつ使用すべきか AWS Lambdaについて
14~ 15	ラボ②	EC2を使った演習
16~ 17	モジュール 7 : ストレージ	Amazon S3 について Amazon EBS について Amazon EFS について Amazon S3 Glacier について Amazon EBS、Amazon S3、Amazon EFS、Amazon S3 Glacier の違い
18~ 19	ラボ③	S3を使った演習
20~ 21	モジュール 8 : データベース	Amazon RDSについて Amazon DynamoDB について Amazon Redshift について Amazon Aurora について 起動、設定、操作など、RDS データベースでタスクを実行する
22~ 23	ラボ④	RDSを使った演習
24~ 25	モジュール 9 : クラウドアーキテクチャ	AWS Well-Architected フレームワークについて 信頼性と高可用性の重要性 AWS Trusted Advisor について

回	テ ー マ	内 容		
26~ 27	モジュール 10 : Auto Scalingとモニタリング	Elastic Load Balancingについて Amazon CloudWatch によって AWS リソースとアプリケーションのリアルタイムのモニタリングを実施する方法 ワークロードの変化に応じて Amazon EC2 Auto Scaling がサーバーを起動および終了する方法 スケーリングと負荷分散のタスクを実行してアーキテクチャを改善する方法		
28~ 29	ラボ⑤	総合演習		
30	期末試験	期末試験を行う		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
AWSの基本・仕組み・重要用語が全部分かる教科書		課題・レポート 確認テスト	60.0% 40.0%	詳細はclassroom : <a href="https://classroom.google.com/u/0/c/ODU4Njc0ODU5MjAz?hl=ja">https://classroom.google.com/u/0/c/ODU4Njc0ODU5MjAz?hl=ja</a>

科目名	学科/学年	年度/時期	授業形態
セキュアプログラミング演習 I	ネットワークセキュリティ学科/2年	2026/前期	演習
単位数または時間数	必修・選択必修・自由選択		担当教員
3単位 (90時間)	必須		鹿庭 大樹
授業の概要			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ PHPを使ったwebアプリケーションの作成するスキルを養う</li> <li>・ MySQLを使ってのSQLを学習する</li> <li>・ HTTPの基本的な仕組みについての理解する</li> </ul>			
授業終了時の到達目標			
<p>XAMPPを利用したPHP・MySQLなどのWebアプリケーションのバックエンド開発を行える。</p> <p>A段階 Webアプリケーションについて理解しており、Webアプリケーションの開発ができる</p> <p>B段階 PHPについて理解している</p> <p>C段階 プログラミングについて理解を深める必要がある</p>			
実務経験有無	実務経験内容		
有	SEとして10年、営業として2年の実務経験 情報処理安全確保支援士試験に合格している。		
時間外に必要な学修			
学習した内容の復習と次回授業の予習を行う			
回	テーマ	内容	
1	webサーバとは	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ webサーバ及びwebアプリケーション作成の基本</li> <li>・ 開発環境整備 (XAMPP)</li> <li>・ 画面に文章を表示する</li> </ul>	
2	PHPの基本	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 計算結果を表示する</li> <li>・ 画面に現在の時刻を表示する</li> </ul>	
3	変数とオブジェクト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ オブジェクトを使って現在の時刻を表示する</li> <li>・ 変数を使って計算結果を格納する</li> <li>・ 1から365までの数字を表示する</li> </ul>	
4	配列	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1年後までのカレンダーを作成する</li> <li>・ 曜日を日本語で表示する - 配列</li> <li>・ 英単語と日本語の対応表を作る - 連想配列</li> </ul>	
5	制御文	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 9時よりも前の時間の場合に、警告を表示する - if 構文</li> </ul>	
6	関数利用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小数を整数に切り上げる・切り下げる - ceil、floor、round</li> <li>・ 書式を整える - sprintf</li> </ul>	
7	ファイルの入出力①	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ファイルに内容を書き込む - file_put_contents</li> <li>・ ファイルの読み込み - file_get_contents</li> </ul>	
8	ファイルの入出力②	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ XMLの情報を読み込む - simplexml_load_file</li> <li>・ JSONを読み込む</li> </ul>	
9	フォーム①	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ フォームに入力した内容を取得する</li> <li>・ チェックボックス、ラジオボタン、リストボックス (ドロップダウンリスト) の値を取得する</li> </ul>	

回	テ ー マ	内 容
10	フォーム②	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 複数選択可能なチェックボックス、リストボックスの値を取得する</li> <li>・ 半角数字に直して、数字であるかをチェックする</li> </ul>
11	正規表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 郵便番号を正規表現を使ってチェックする</li> <li>・ 別のページにジャンプする</li> </ul>
12	クッキーとセッション①	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 一行ごとにテーブルセルの色を変える - 剰余算</li> <li>・ Cookieに値を保存する</li> </ul>
13	クッキーとセッション②	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ セッションに値を保存する</li> <li>・ 電子メールを送信する</li> </ul>
14	ファイルのアップロード	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2つのトップページにランダムで誘導する - rand</li> <li>・ ファイルアップロードを受信する</li> </ul>
15	データベースについて	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ データベースについて</li> <li>・ MySQLを使ってみよう</li> </ul>
16	データベースの利用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ データベースを使ってみよう</li> <li>・ データベースを理解しよう</li> </ul>
17	テーブルの作成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ SQLを使ってみよう</li> <li>・ テーブルを作るSQL - CREATE</li> </ul>
18	追加と更新	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ データを挿入するSQL - INSERT</li> <li>・ データを変更するSQL - UPDATE</li> </ul>
19	削除と検索	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ データを削除するSQL - DELETE</li> <li>・ データの検索SQL - SELECT</li> </ul>
20	プライマリキー、オートインクリメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ プライマリーキー - DBで一番大切なキー</li> <li>・ オートインクリメント - さらに便利な自動採番</li> </ul>
21	抽出応用①	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ テーブルの構造を変更しよう</li> <li>・ 条件を指定しよう - WHERE</li> </ul>
22	抽出応用②	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ORDER BY - データの並び替えで、ランキングも思いのまま</li> <li>・ DATETIME型とTIMESTAMP型</li> </ul>
23	抽出応用③	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ COUNT、SUM、MAX、MIN ? 計算・集計お手の物</li> <li>・ DISTINCT、BETWEEN、IN、LIMIT ? その他の便利なSQL</li> </ul>
24	HTTPプロトコルについて	リクエスト、レスポンス、メソッド、ステータスコードなどについて
25	総合演習①	・ PHP+DBを利用したWebサイトの作成
26	''	''
27	''	''
28	総合演習②	・ X風ひとこと掲示板を作成
29	''	''
30	''	''
31	''	''

回	テ ー マ	内 容		
32	''	''		
33	課題作成	課題作成		
34	''	''		
35	''	''		
36	''	''		
37	''	''		
38	''	''		
39	''	''		
40	''	''		
41	''	''		
42	''	''		
43	''	''		
44	''	''		
45	''	''		
	教科書・教材	評価基準	評価率	その他
	・ちゃんとしたプロになるPHP基礎入門	課題・レポート	100.0%	詳細はclassroom : <a href="https://classroom.google.com/u/0/c/ODQ40Dc4NjU2NjQx?hl=ja">https://classroom.google.com/u/0/c/ODQ40Dc4NjU2NjQx?hl=ja</a>

科目名	学科/学年	年度/時期	授業形態
社会人基礎講座Ⅲ	ネットワークセキュリティ 学科/2年	2026/前期	講義
単位数または時間数	必修・選択必修・自由選択		担当教員
2単位 (30時間)	必須		鹿庭 大樹
授業の概要			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 専門学校での学習の意味を理解し進路を決定する際に必要な知識とスキルを身につける</li> </ul>			
授業終了時の到達目標			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自己PRや志望動機など履歴書に必要な項目を自ら考えて表現することが出来る</li> <li>・ 就職活動の進め方を理解し自主的に活動することが出来る</li> </ul>			
実務経験有無	実務経験内容		
有	システムエンジニアとして10年、営業として2年の実務経験 情報処理安全確保支援士試験に合格している。		
時間外に必要な学修			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「物の見方」「考え方」「行動の仕方」を意識的に前向きにして「気付くこと」を習慣化する</li> <li>・ 自分の就職活動の状況を報告できるように準備しておく</li> </ul>			
回	テーマ	内 容	
1	就職活動状況の確認	学生それぞれの就職活動状況の確認をする	
2	■動画教材：偶然がつくる人生	意識の持ち方で見えるものが変わって来ることを解説	
3	就職活動状況の確認	学生それぞれの就職活動状況の確認をする	
4	■動画教材：モノの見方	自分のモノの見方の特徴を把握する モノの見方を広くする方法とは モノの見方を広くするための行動とは モノの見方の難しさの再確認	
5	就職活動状況の確認	学生それぞれの就職活動状況の確認をする	
6	■動画教材：文章の書き方と構成の仕方①	文章の書き方の基本を理解する 文章の構成の基本を理解する キャッチコピーを作ろう	
7	就職活動状況の確認	学生それぞれの就職活動状況の確認をする	
8	■動画教材：考え方(その1)①	論理的とは ブレインストーミングの基本を知る 帰納法とは 思考法について考える	
9	就職活動状況の確認	学生それぞれの就職活動状況の確認をする	
10	■面接のポイントを理解する	面接の目的を知る 準備の仕方を知る 今まで作成した課題の活用方法を再度考える	

回	テーマ	内 容		
11	就職活動状況の確認	学生それぞれの就職活動状況の確認をする		
12~ 15	面接ロープレ⑥	面接をロールプレイング形式で行い、個人・集団・オンラインともに臨機応変できる力を身につける		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
・なし		課題・レポート	100.0%	詳細はclassroom : <a href="https://classroom.google.com/u/0/c/ODU4Njc2MTM3MDg0?hl=ja">https://classroom.google.com/u/0/c/ODU4Njc2MTM3MDg0?hl=ja</a>

科目名	学科/学年	年度/時期	授業形態	
サイバー攻撃・防御演習Ⅱ	ネットワークセキュリティ 学科/2年	2026/後期	演習	
単位数または時間数	必修・選択必修・自由選択		担当教員	
2単位(60時間)	必須		鹿庭, 木部	
授業の概要				
仮想環境を使って、安全な環境下での攻撃と防御の手法を習得する				
授業終了時の到達目標				
サイバー攻撃の手法を理解し、正しい対応を習得する				
実務経験有無		実務経験内容		
有		システムエンジニアとして10年、営業として2年の実務経験。 情報処理安全確保支援士試験に合格している。		
時間外に必要な学修				
多種多様なOSやツールをひとつのPCに導入するので、環境が壊れることのないように各種ファイルやインストールデータの扱いに気をつけること				
回	テーマ	内容		
1~8	SQLインジェクション演習	SQLインジェクション		
9~16	Webアプリケーションのハッキング	DVWAの導入 DVWAの設定		
17~19	Webアプリケーションのハッキング	SQLインジェクション ブラインドSQLインジェクション		
20~26	Webアプリケーションのハッキング	bWAPP bee-boxのセットアップ bWAPP bee-boxの設定 PHPコードインジェクション SSIインジェクション 辞書攻撃 Shellshock攻撃 バッファオーバーフロー		
27~30	ログオン認証のハッキング	Windowsのログオン認証のハッキング バックドアの設置		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
なし		課題・レポート	100.0%	詳細はClassroomへ

科目名	学科/学年	年度/時期	授業形態
インシデント演習	ネットワークセキュリティ 学科/2年	2026/後期	演習
単位数または時間数	必修・選択必修・自由選択		担当教員
3単位 (90時間)	必須		鹿庭, 木部
授業の概要			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・サイバー攻撃・防御演習で設定した仮想環境をリアルなネットワーク上で再構築し、1年時に習得したネットワークとサーバの構築技術を組み合わせ、総合的なシステムを構築する。</li> <li>・システム運用時に起こる様々なインシデントを発見し、現象を把握して報告する流れを習得する。</li> </ul>			
授業終了時の到達目標			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・DMZ構造のネットワークシステムを設計・構築できる。</li> <li>・ルータ・Linuxサーバに管理者PCからアクセスし、状態を確認できる。</li> <li>・起きている現象からインシデントを発見し、適切に処置できる。</li> </ul>			
実務経験有無		実務経験内容	
有		システムエンジニアとして10年、営業として2年の実務経験。 情報処理安全確保支援士試験に合格している。	
時間外に必要な学修			
ネットワーク機器の設定などを残すこともあるので、授業準備・後片付けとパスワードなどの管理を怠らないこと			
回	テーマ	内容	
1	インシデントとは	インシデントとアクシデントの違い	
2~ 3	環境構築	DMZ構築	
4	環境構築	Webサーバの構築	
5	環境構築	Proxyサーバの構築	
6~ 7	環境構築	LAN側の構築	
8~ 9	環境構築	Proxyを介したWebアクセス	
10~ 11	環境構築	内部ルータのACL設定	
12~ 13	環境構築	外部ルータのACL設定	
14	環境構築	システム仕様書提出	
15~ 25	人的インシデント演習	サイバー攻撃の現象確認 システムの復旧 インシデント報告書提出	
26~ 27	Webアプリケーションシステム構築	MySQL構築	
28	Webアプリケーションシステム構築	PHP導入	
29~ 33	Webアプリケーションシステム構築	Webシステム構築	

回	テーマ	内容		
34	Webアプリケーションシステム構築	システム仕様書提出		
35~ 45	システムインシデント演習	サイバー攻撃の現象確認 システムの復旧 インシデント報告書提出		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
なし		課題・レポート	100.0%	詳細はClassroomへ

科目名	学科/学年	年度/時期	授業形態
セキュリティ実践演習	ネットワークセキュリティ 学科/2年	2026/後期	演習
単位数または時間数	必修・選択必修・自由選択		担当教員
5単位 (160時間)	必須		片山, 鹿庭, 木部
授業の概要			
2年生前期までで習得したネットワーク・サーバ構築・セキュリティの技術を活かし、様々なトラブルシューティング型問題の設問と解答を行う さらに、その問題を利用して、学内トラブルシューティングコンテストの企画・環境構築・準備・開催までを行っていく			
授業終了時の到達目標			
学内トラブルシューティングコンテストに、主催者側として企画・運営するために必要な技術的解決が行える ネットワークセキュリティ学科1年生を対象にした学内トラブルシューティングコンテストを企画・運営側として成功させる			
実務経験有無		実務経験内容	
有		システムエンジニアとして10年、営業として2年の実務経験。 情報処理安全確保支援士試験に合格している。	
時間外に必要な学修			
イベントを企画・開催する大きな流れで授業が進むので、ひとつひとつの成果物を共有して管理を行い、手戻りがないように注意すること			
回	テーマ	内容	
1	トラブルシューティングの概要	トラブルシューティングの概要 学内トラブルシューティングコンテストについて	
2~ 4	問題作成 1	ネットワーク問題の作成	
5~ 6	問題解答	問題の解答と振り返り 他の学生の問題を解き、振り返りを行う	
7~ 9	問題作成 2	ネットワーク問題の作成	
10~ 11	問題解答	問題の解答と振り返り 他の学生の問題を解き、振り返りを行う	
12~ 14	問題作成 3	サーバ問題の作成	
15~ 16	問題解答	問題の解答と振り返り 他の学生の問題を解き、振り返りを行う	
17~ 19	問題作成 4	サーバ問題の作成	
20~ 21	問題解答	問題の解答と振り返り 他の学生の問題を解き、振り返りを行う	
22~ 24	問題作成 5	発表形式の問題作成 (ネットワーク)	
25~ 26	問題解答	発表形式での問題解答と解説	
27~ 29	問題作成 6	ストーリーのある問題の作成 (サーバ中心)	
30	問題解答	問題の解答と振り返り 他の学生の問題を解き、振り返りを行う	

回	テーマ	内容		
31～ 32	トラブルシューティングコンテスト 企画	校内トラブルシューティングコンテストの企画立案 全体のスケジュールリング 競技ルールの策定		
33～ 38	ミニトラブルシューティングコンテ スト準備	競技ルールの策定 問題選定 企画書策定		
39～ 52	ミニトラブルシューティングコンテ スト準備	ミニトラブルシューティングコンテスト環境整備		
53～ 54	ミニトラブルシューティングコンテ スト準備	リハーサル1		
55～ 56	ミニトラブルシューティングコンテ スト準備	問題点の修正（主に解答解説）		
57	ミニトラブルシューティングコンテ スト準備	最終調整		
58～ 59	ミニトラブルシューティングコンテ スト開催	実際のコンテストの開催と運営		
60	トラブルシューティングコンテスト 準備	ミニトラブルシューティングコンテストの振り返り		
61～ 63	トラブルシューティングコンテスト 準備	ミニトラコンを踏まえて問題選定		
64～ 66	トラブルシューティングコンテスト 準備	全体のシナリオ作成とそれに合わせた環境整備		
67～ 68	トラブルシューティングコンテスト 準備	リハーサル1		
69～ 71	トラブルシューティングコンテスト 準備	問題点の修正		
72～ 73	トラブルシューティングコンテスト 準備	リハーサル2		
74	トラブルシューティングコンテスト 準備	最終調整		
75～ 77	トラブルシューティングコンテスト 開催	実際のコンテストの運営		
78	トラブルシューティングコンテスト 振り返り	反省と振り返りを行う		
79	トラブルシューティングコンテスト 振り返り	イベント開催報告書と所感の作成		
80	成果物の整備	作成した問題群の整備		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
なし		課題・レポート	100.0%	詳細はClassroomへ

科目名	学科/学年	年度/時期	授業形態	
AWSクラウド応用	ネットワークセキュリティ 学科/2年	2026/後期	演習	
単位数または時間数	必修・選択必修・自由選択		担当教員	
1単位 (30時間)	必須		鹿庭 大樹	
授業の概要				
AWSで可用性の高いインフラ構築を行うための知識をハンズオンで学ぶ。				
授業終了時の到達目標				
AWSに関する応用知識を持ち、様々なサービスを連携させたインフラを構築できる。 A段階 AWSの応用知識が身についており、様々なサービスを連携させたインフラ構築ができる。 B段階 AWSについてある程度応用知識を持っており、マルチAZを活用した構築ができる。 C段階 AWSのサービスについての知識を持っている				
実務経験有無		実務経験内容		
有		SEとして10年、営業として2年の実務経験 AWS Certified Cloud Practitioner、AWS Certified Solutions Architect - Associate を取得済み。		
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内容		
1	AWSの復習と応用	AWSの基本サービス (EC2, S3, RDSなど) の復習		
2	''	クラウドアーキテクチャの設計とベストプラクティス		
3~ 4	ネットワーキングとセキュリティ	セキュアなネットワーク環境の構築と運用		
5	データ管理とデータベース	S3とGlacierを用いたデータ保存・管理		
6	''	RDSとDynamoDBでのデータベース管理		
7~ 8	コンピューティングとオートメーション	Auto ScalingやElastic Load Balancingによるスケーラブルなインフラ構築		
9~ 10	エッジロケーションの活用	Route53とcloudFrontによるエッジロケーションを活用したインフラ構築		
11~ 15	課題作成	これまでの学習を活かした課題作成に取り組む		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
AWSの基本・仕組み・重要用語が全部分かる教科書		課題・レポート	100.0%	詳細はClassroomへ

科目名	学科/学年	年度/時期	授業形態
セキュアプログラミング演習	ネットワークセキュリティ学科/2年	2026/後期	演習
単位数または時間数	必修・選択必修・自由選択		担当教員
2単位 (60時間)	必須		鹿庭 大樹
授業の概要			
・Webアプリケーションの脆弱性と対策について学習する			
授業終了時の到達目標			
以下の3段階にて評価する。 A段階 脆弱性や攻撃方法、対策について説明ができる。また、対策を講じたプログラミングができる。 B段階 Webサイトの脆弱性を無くす方法について説明ができる。 C段階 クロスサイトスクリプティング等の攻撃方法の説明ができる。			
実務経験有無		実務経験内容	
有		SEとして10年、営業として2年の実務経験 情報処理安全確保支援士試験に合格している。	
時間外に必要な学修			
回	テーマ	内容	
1	クロスサイトスクリプティング①	1. クロスサイトスクリプティング (基本) 2. 攻撃方法と影響	
2	クロスサイトスクリプティング②	3. 対策と実践	
3	クロスサイトスクリプティング③	1. クロスサイトスクリプティング (応用)	
4	クロスサイトスクリプティング④	2. 対策と実践	
5	SQLインジェクション①	1. SQLインジェクション 2. 攻撃方法と影響	
6	SQLインジェクション②	3. 対策と実践	
7	クロスサイト・リクエスト・フォージェリ (CSRF) ①	1. CSRF 2. 攻撃方法と影響	
8	クロスサイト・リクエスト・フォージェリ (CSRF) ②	3. 対策と実践	
9	クリックジャッキング①	1. クリックジャッキング 2. 攻撃方法と影響	
10	クリックジャッキング②	3. 対策と実践	
11	セッションハイジャック①	1. セッションハイジャック 2. 攻撃方法と影響	
12	セッションハイジャック②	3. 推測可能なセッションID 4. URL埋め込みセッションID 5. セッションIDの固定化	

回	テーマ	内 容		
13	セッションハイジャック③	6. 対策と実践		
14	HTTPヘッダ・インジェクション①	1. HTTPヘッダ・インジェクション 2. 攻撃方法と影響		
15	HTTPヘッダ・インジェクション②	3. 対策と実践		
16	メール送信の問題①	1. メール送信の問題 2. 攻撃方法と影響		
17	メール送信の問題②	3. 対策と実践		
18	ファイルアクセスにまつわる問題①	1. ファイルアクセスにまつわる問題 2. 攻撃方法と影響		
19	ファイルアクセスにまつわる問題②	3. ディレクトリ・トラバーサル 4. 意図しないファイル公開		
20	ファイルアクセスにまつわる問題③	3. 対策と実践		
21	OSコマンド・インジェクション①	1. OSコマンド・インジェクション 2. 攻撃方法と影響		
22	OSコマンド・インジェクション②	3. 対策と実践		
23	XML外部実体参照①	1. XML外部実体参照 2. 攻撃方法と影響		
24	XML外部実体参照②	3. 対策と実践		
25	Javascriptの問題①	1. DOM Based XSS 2. 攻撃方法と影響		
26	Javascriptの問題②	3. 対策と実践		
27	Javascriptの問題③	1. Webストレージの不適切な仕様 2. 攻撃方法と影響		
28	Javascriptの問題④	1. postMessage 2. 攻撃方法と影響		
29	Javascriptの問題⑤	3. 対策と実践		
30	認証	1. 認証 2. 攻撃方法と影響		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
・体系的に学ぶ 安全なWebアプリケーションの作り方 第2版		課題・レポート	100.0%	詳細はClassroomへ

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
データサイエンス専攻		専攻	2026/前期	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	1単位(30時間)	必須	片山満久
授業の概要				
データから有用な発見を科学的アプローチ、アルゴリズムで抽出し、その有用な発見を適用して課題解決を行う。				
授業終了時の到達目標				
データを元に論理的に課題の解決手法を導く力を身につける。				
実務経験有無		実務経験内容		
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内容		
1~2	データ分析を広く理解する	①データサイエンスとは ②記述統計学とは		
3~4	押さえておきたいエクセルのテクニック1	①絶対参照・相対参照 ②SUM、MAX、MIN関数 ③COUNTIF、SUMIF、VLOOKUP関数		
5~6	押さえておきたいエクセルのテクニック2	①ピボットテーブル ②フィルター機能		
7~8	記述統計学1	①ヒストグラム ②要約統計量とは		
9~10	記述統計学2	①平均値とAVERAGE関数 ②中央値とMEDIAN関数 ③標準偏差とSTDEV. S、STDEV. P関数		
11~12	共分散と相関	①共分散COVARIANCE. Sと相関関 ②相関係数とCORREL関数		
13~15	データ分析	実際のデータを分析し、分析結果を発表する		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
みんなのためのデータサイエンス		課題・レポート	100.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
データサイエンス専攻		専攻	2026/後期	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	1単位(30時間)	必須	片山満久
授業の概要				
推測統計学の基礎を理解し、未明のデータの傾向を推測する。				
授業終了時の到達目標				
サンプルデータに基づいて、母集団の傾向を推測できるようになる。 現在のデータに基づいて、未来の傾向を予測できるようになる。				
実務経験有無		実務経験内容		
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内容		
1~2	分析結果に疑いを持つ	データが現実と即していない例を解説		
3~4	確率変数と確率	①確率変数と確率 ②二項分布とヒストグラム ③BINOM. DIST関数		
5~6	確率変数と分散	①確率変数と平均 ②二項分布における分散		
7~8	正規分布とポワソン分布	①ポワソン分布とPOISSON. DIST関数 ②正規分布とNORM. DIST関数		
9~10	推測統計学	①確率密度関数と確率質量関数 ②累積分布関数		
11~12	データ分析 1	実際の標本データを分析し、母集団の傾向を推測する		
13~15	データ分析 2	実際のデータを分析し、未来の傾向を予測する		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
みんなのためのデータサイエンス		課題・レポート	100.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
e-Sport専攻		専攻	2026/前期	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	1単位(30時間)	必須	杉本 憲昭
授業の概要				
e-sportsの大会やイベントを企画するための基礎知識やプロモーション方法・運営などイベント企画に関わる基礎から応用までを実践的に学びます。e-sportsイベント運営では、穴吹カレッジ高松校合同学園祭(穴吹祭)や、オープンキャンパスで実際のe-sports大会の開催をめざし準備を進めます。				
授業終了時の到達目標				
e-sportsの大会やイベントを企画するための基礎知識やプロモーション方法・運営などイベント企画に関わる基礎から応用までを学ぶ				
実務経験有無	実務経験内容			
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内容		
1	e-Sportとは	e-Sportについて探求する 歴史、今流行りのe-Sportなど		
2	イベント運営論	4つの型(講演会型、発表会型、ディスカッション型、交流会型) イベントづくり論		
3	外部講師講座1	オンラインもしくは対面		
4	ミニイベント企画演習1			
5	ミニイベント企画演習2			
6	ミニイベント企画演習3			
7	ミニイベント企画演習4			
8	外部講師講座2	オンラインもしくは対面		
9	オープンキャンパスのイベントを企画			
10	オープンキャンパスのイベントを企画			
11	穴吹祭のe-Sportイベントを企画			
12	穴吹祭のe-Sportイベントを企画			
13	穴吹祭のe-Sportイベントを企画			
14	穴吹祭のe-Sportイベントを企画			
15	穴吹祭のe-Sportイベントのふりかえり			
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
		課題・レポート	100.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
e-Sport専攻		専攻	2026/後期	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	1単位(30時間)	必須	杉本 憲昭
授業の概要				
e-sportsの大会やイベントを企画するための基礎知識やプロモーション方法・運営などイベント企画に関わる基礎から応用までを実践的に学びます。e-sportsイベント運営では、穴吹カレッジ高松校合同学園祭(穴吹祭)や、オープンキャンパスで実際のe-sports大会の開催をめざし準備を進めます。				
授業終了時の到達目標				
e-sportsの大会やイベントを企画するための基礎知識やプロモーション方法・運営などイベント企画に関わる基礎から応用までを学ぶ				
実務経験有無		実務経験内容		
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内容		
1	ミニイベント企画演習5			
2	ミニイベント企画演習6			
3	イベントの振り返り			
4	オープンキャンパスのイベントを企画			
5	オープンキャンパスのイベントを企画			
6	イベントの振り返り			
7	ミニイベント企画演習7			
8	ミニイベント企画演習8			
9	イベントの振り返り			
10	ミニイベント企画演習9			
11	ミニイベント企画演習10			
12	オープンキャンパスのイベントを企画			
13	オープンキャンパスのイベントを企画			
14	イベントの振り返り			
15	まとめ			
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
		課題・レポート	100.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
ドローン・ロボット専攻		専攻	2026/前期	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	1単位(30時間)	必須	榎本 靖之
授業の概要				
ドローンの操縦方法と映像作品制作を学ぶ。				
授業終了時の到達目標				
ドローンの基本的な操縦方法と簡単な映像作品の制作スキルが身に付く。				
実務経験有無		実務経験内容		
なし				
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内容		
1~2	ドローンの基本構造と部品	①主要な部品やその役割の説明 ②ドローンの基本的な仕組み		
3~4	ドローンの操作の基本	①ドローンの起動方法 ②基本的な飛行のコントロール方法		
5~6	実践: 初級フライト	①安全なエリアでのホバリング練習 ②簡単な移動操作の練習		
7~8	ドローンの法規制と安全対策	①日本のドローン関連の法律・ルールの概要 ②安全な飛行のための基本的な知識		
9~10	実践: 中級フライト	①高度や距離を変える操作 ②シンプルなコースを飛行		
11~12	ドローンのカメラ操作と撮影の基本	①カメラの機能と設定方法 ②基本的な撮影テクニック		
13~15	実践: 撮影フライト	①撮影のための飛行練習 ②フレーミングやアングルの基本		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
飛ばせる・撮れる・楽しめる ドローン超入門 Ryze Tello DJI Mini 4 Pro		課題・レポート	100.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
ドローン・ロボット専攻		専攻	2026/後期	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	1単位(30時間)	必須	榎本 靖之
授業の概要				
ドローンの操縦方法と映像作品制作を学ぶ。				
授業終了時の到達目標				
ドローンの基本的な操縦方法と簡単な映像作品の制作スキルが身に付く。				
実務経験有無		実務経験内容		
なし				
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内容		
1~2	映像作品制作: 絵コンテ	①グループで映像作品の制作に取り組む ②絵コンテを作成、アングルを検討		
3~7	映像作品制作: 撮影	ドローンを操作し撮影する		
8~14	映像作品制作: 編集	撮影した映像に音楽や字幕を付ける		
15	映像作品制作: 発表	各グループ作品発表		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
飛ばせる・撮れる・楽しめる ドローン超入門 Ryze Tello DJI Mini 4 Pro		課題・レポート	100.0%	